

耐震

耐震診断と耐震補強

「安全で安心して住み続けられる家」
そのためにも、災害に強い構造にすることが必要となります。



いつ起きるかわからない「大地震」に備えて、住宅の耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強をすることが重要です。

耐震診断とは？



建物の地震に対する耐力がどれくらいあるか診断するものです。

国では大地震で被害を受けると、被害の状況を研究して、同じ被害を受けないように、「耐震基準」を厳しくするなど、法律や基準を改正してきました。

現在の「新耐震設計基準」は、阪神・淡路大震災においても、この基準で建てられた建物は被害が少なかったといわれています。

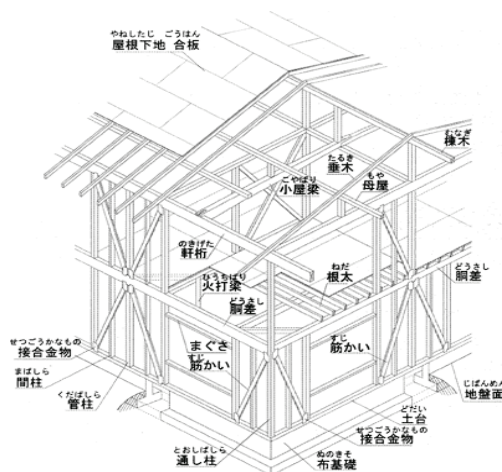
耐震診断は、地震に対する強さ「耐震性」の度合いを調べる事です。

耐震診断に基づき効率よく耐震補強を行うことが望めます。

木造住宅の倒壊原因

過去の災害から見る木造住宅の主な倒壊原因

- ★ 壁量の不足
- ★ 壁のバランスが悪い
- ★ 接合金物が適切に取付られていない
- ★ 木材の腐朽や蟻害

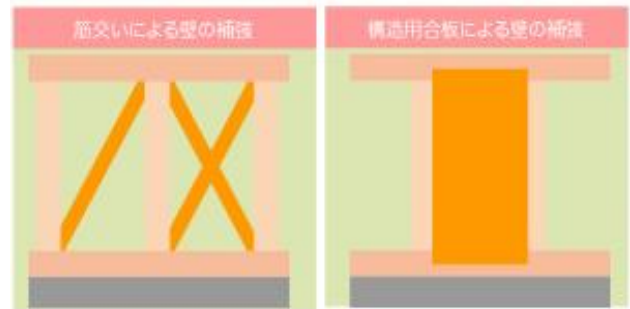


木造住宅の耐震補強

耐震補強の種類（主なもの）

① 壁の補強

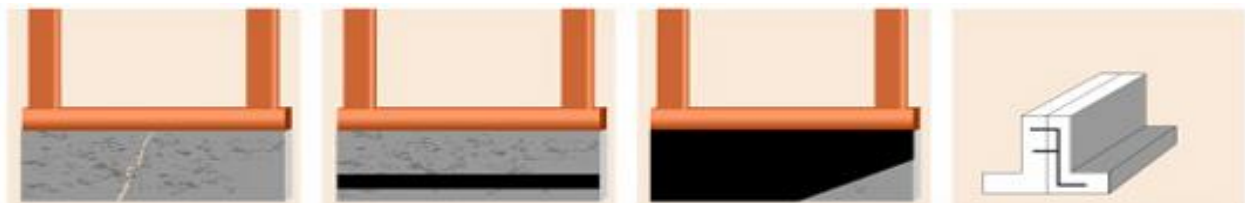
耐力壁を補強の必要な位置に的確に設置します。
耐力壁とは、水平力に対して対抗できる「壁または筋交いの入った軸組」をいいます。



② 屋根の軽量化と劣化箇所の補修

積載重量のある瓦など、重い屋根を軽量の材質の屋根に葺き替えることも、耐震性を向上させます。
その他、外壁・樋・床下などの劣化箇所を補修することも耐震補強につながります。

③ 基礎の補強



ひび割補強

炭素繊維補強

炭素繊維補強

内増し工法

④ 接合部の補強

耐震診断の評点には反映しませんが、他の補強方法と組み合わせる事で、より高度な補強効果が得られます。



